

こんにちは
日本共産党です

食料品高騰 食糧自給率低下の中 「給食費は値上げしない」

日本共産党流山市議団
高野 と も 7155-1683
いぬい紳一郎 7159-2773
小田桐たかし 7154-0878
徳増 記代子 7148-6871
市議団事務所
TEL/FAX 7157-6140

食糧自給率39%にまで落ち込んでいる日本。小麦やとうもろこしなど外国の食料品の高騰が食卓や学校給食に大きな影響を与えています。流山市内の学校は大丈夫なのでしょうか。

安全な国内産食品で 献立も工夫して

小麦、乳製品、油脂関係食品など学校給食に欠かせない食品の値上がり著しくなっています。そのため、東京都

学校給食会がパンや生パスタを10%前後値上げするなど、流山市を含め、全国の学校が食品を調達している都道府県の学校給食会は相次いで食材価格は値上げしています。これらの影響が全国各地に押し寄せ、給食費の値上げとなって保護者の負担を増やしています。

を値上げしています。

一方で値上げをしないで、何とか献立などを工夫している自治体もありです。京都府城陽市では、冷凍食品のニシン照り焼きを手作りの五目煮豆にして一食約20円節約。仙台市は、小麦の価格上昇分を献立等で工夫するという具合です。

6月議会で、日本共産党の高野とも市議は「あらゆる負担が増える中、給食費を値上げするべきではない」と追求。当局は「食料品の値上がりを給食費の

値上げに結び付けることなく、種々の工夫によって現状の金額で乗り切っていきたい」と答弁しました。そして工夫については「地元産の野菜や国産」を説明しました。

値上げに結び付けることなく、種々の工夫によって現状の金額で乗り切っていきたい」と答弁しました。

そして工夫については「地元産の野菜や国産」を説明しました。

お金のあるなしで 子どもを差別してはならない

あらゆるものの値上がりで家計はますます苦しくなる中、全国的に給食費の未納問題が焦点となりました。

鎌ヶ谷市は、催告に応じない世帯について、支払督促を裁判所に申し立てしました。市川

内産食材の使用、肉の種類や部位の変更などで努力している」と説明しました。



高野市議は「すべての児童・生徒が安心して給食を食べられるように、お金のあるなしで教育の一環である給食から子どもを排除することがあってはならない」と指摘。当局も「そのようなことは考えていない」と答弁しました。



調理業務の民間委託 給食に責任が持てるの？

流山市では、市内2か所の中学校共同調理場で、給食の調理業務を民間委託しています。「請負」という形の民間委託は、法律によって請け負った業者が調理に責任を持たなければならないとされています。しかし、実際には市の栄養士が献立を立て、食材も仕入れて、業者に調理の指示をしており、「偽装請負」になるのではと、全国で問題になっています。

学校給食は教育の一環として、すべてにおいて市が責任を持たなければならない。調理業務の民間委託は、法律からも責任の所在からも問題があります。「どの子にも安全で豊かな給食を」「自校直営方式の給食を守ろう」の声をあげましょう。